

2011年 7月 23日

第32回全国国公立大学スキー選手権大会のお知らせ

第32回全国国公立大会を以下の日程で開催いたしますので、ご参加ください。

記

名称 全国国公立大学スキー選手権大会
日時 平成24年3月5日～9日
種目 アルペン;SG・GS・SL(6日～8日)
クロスカントリー;スプリント・クラシカル・フリー・リレー(6日～9日)
場所 長野県白馬村岩岳スキー場
主幹校 名古屋工業大学、静岡大学

以上

キャプテンミーティング開催のお知らせ

大会開催につきまして、事前にキャプテンミーティングを開催させていただきますので、資料持参のうえご参加下さい。

日時 8月30日(火) 14:00~16:00

場所 名古屋工業大学 2号館 1階 0211 講義室

集合 13:50 前に2号館前に集合してください(同封の地図でご確認ください)。

2号館前に受付員を配置しますので、受付を済まして入室してください。

車でお越しになる方は、正門前に誘導員を配置しますので、正門から大学に入って
いただいて、誘導員の指示に従って大学内の駐車場に停めるようお願いいたします。

※尚、大会及びキャプテンミーティングの参加・不参加、さらに車で来られる方は車種、
ナンバーも併せて、返信用はがきにご記入の上8月8日(月)必着でお願いします

※交通費は全額支給します

〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学スキー部
喜多 剛志 TEL 090-9942-1120

E-mail 携帯:kita-ta-Rbk@c.vodafone.ne.jp PC:tkita45@gmail.com

議 事 内 容 予 定

1. 主幹校挨拶、役員紹介
2. 配布物確認
3. キャプテンミーティング成立の確認
4. 大会日程について
5. 大会全般の運営について
6. 競技の運営について
7. エントリーについて
8. 前大会の会計報告, および今大会の予算審議
9. 大会規約について
10. アンケートについて
11. キャプテンミーティング終了後の送付物確認
12. 次期主幹校について

全日本国公立大学スキー選手権大会規約

昭和60年3月3日 発行
平成19年9月25日 補修

第1章 名称

第1条 本大会の名称を全日本国公立大学スキー選手権大会とする。

第2章 目的

第2条 本大会はスキー競技において純粋なアマチュアリズムを残し、全国の国公立大学の連携により、学生スキーの精神を高揚し、併せて加盟校の技術向上と親睦を図ることを目的とする。

第3章 主催

第3条 本大会は全日本国公立スキー選手権大会実行委員が主催する。

第4章 キャプテン会議

第4条 キャプテン会議は、加盟校のスキー部代表者で構成され、本大会における最高決議権を有する。

第5条 キャプテン会議は、主幹校が招集し、会議の成立には加盟校の3分の2以上の出席が必要であり、決議には過半数の賛成が必要である。但し、出席校が3分の2以下の場合でも会議は仮成立する。仮成立の場合、会議後、欠席校に会議内容を報告し、会議の成立とする。

第5章 主幹校

第6条 主幹校は本大会を開催する。

第7条 主幹校は2校とし、そのうち1校に事務局をおく。但し、大会期間中は主幹校宿泊所内に置くものとする。

第8条 本大会の主幹校は持ち回りを原則とする。尚、新規加盟の大学については、参加の2年以後に既参加の主幹校と共に主幹校となる。

第8条 細則 主幹校選定方法(平成14年11月17日改正 平成16年9月25日発行)

・JIS X 0401 コードに従い、都道府県別に毎回参加校の名簿を作り、この名簿に従い主幹校を選定する。

・都道府県別の順序は以下の通り

北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・富山・
石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・
広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

・同一都道府県内では校名の50音順とする

・不参加校が参加する際、主幹校の名簿順が過ぎている場合、2順目後の主幹校となる

・部員数が少ないなどの理由で主幹校薦めを果たすことのできない場合は、次回主幹校と交代できる

- | | | | |
|------|----------------------|------|----------------------|
| 第1回 | 東京大学・筑波大学 | 第2回 | 東北大学・信州大学 |
| 第3回 | 金沢大学・横浜市立大学 | 第4回 | 静岡大学・信州大学 |
| 第5回 | 愛知教育大学・新潟大学 | 第6回 | 岐阜大学・一橋大学 |
| 第7回 | 群馬大学・滋賀大学 | 第8回 | 高崎経済大学・茨城大学 |
| 第9回 | 秋田大学・宮城教育大学・福島大学 | 第10回 | 弘前大学・宇都宮大学 |
| 第11回 | 埼玉大学・横浜国立大学 | 第12回 | 山梨大学・上越教育大学・長岡技術科学大学 |
| 第13回 | 富山大学・富山医科薬科大学・都留文科大学 | 第14回 | 岩手大学・名古屋大学 |
| 第15回 | 弘前大学・福井大学・岐阜薬科大学 | 第16回 | 秋田大学・東北大学・筑波大学 |
| 第17回 | 信州大学・東京大学 | 第18回 | 横浜市立大学・山形大学・宮城教育大学 |
| 第19回 | 福島大学・一橋大学 | 第20回 | 静岡大学・群馬大学 |
| 第21回 | 金沢大学・横浜国立大学 | 第22回 | 新潟大学・都留文科大学・山梨大学 |
| 第23回 | 福井大学・名古屋大学・岐阜薬科大学 | 第24回 | 東北大学・富山医科薬科大学 |
| 第25回 | 信州大学・新潟大学 | 第26回 | 静岡大学・名古屋工業大学 |
| 第27回 | 金沢大学・福井大学(雪不足のため中止) | 第28回 | 東京大学・東京工業大学 |
| 第29回 | 一橋大学・横浜市立大学 | 第30回 | 秋田大学・東北大学 |
| 第31回 | 富山大学 信州大学 | | |

第9条 次年度主幹校はキャプテン会議において決定される。前年度主幹校は、次年度主幹校を補助する。

第6章 役員

第10条 本大会は会長1名、顧問若干名を置く。会長は原則として主幹校2校いずれかの学長とし、顧問は加盟校の学生部長とする。

第11条 実行委員長、会計、競技役員および本大会に必要と認められる役員は主幹校内で互選される。

第7章 加盟

- 第12条 国公立大学が新たに本大会に加盟するには、キャプテン会議の承認を必要とする。
- 第13条 加盟に必要な書類は、加盟願書、スキー部員名簿、大学を代表するスキー部である証明書及び本大会規約を履行する誓約書とする。
- 第14条 再加盟の手続きは、新規加盟の手続きと同様とする。
- 第15条 加盟期限は、キャプテン会議当日までとする。
- 第16条 加盟期限にもれた大学は、仮加盟とし、その年度はオープン参加とする。

第8章 加盟校の資格及び義務

- 第17条 本大会の加盟校は、国公立大学であることを要する。
- 第18条 加盟校は、本大会規約を履行する義務があり、毎年大会に参加しなければならない。やむを得ない理由で参加できない場合はその理由をキャプテン会議に報告し、その承認を得なければならない。
- 第19条 加盟校は、主幹校の要請により、競技者名簿に登録料を添えて提出する。

第9章 会計

- 第20条 本大会の経費は、加盟校の分担金、登録料、寄付金、その他の収入をこれに当てる。
- 第21条 主幹校は、本大会に伴う収支の予算及び決算をキャプテン会議に報告し、その承認を得なければならない。
- 第22条 参加校は分担金を払う義務がある。支払わない場合は参加を認めない。
- 第23条 分担金を2ヶ月滞納した場合、キャプテン会議に報告し、それに従わない場合は除名する。但し、キャプテン会議がやむを得ないと認めた場合はその限りではない。

第10章 競技出場資格者

- 第24条 次の各項に該当する者は、原則として本大会に出場する資格がないものとし、最終決定はキャプテン会議の審議によるものとする。
1. 停学もしくは謹慎中のもの。
 2. 聴講生、通信教育学生及び校外生。
 3. スキー部に所属していないもの。

第11章 規約改正

- 第25条 本規約は加盟校の3分の2以上の賛成を得ない限り、これを改正・補修することはできない。但し、キャプテン会議において仮改正、仮補修し、会議後各校に対する報告によって改正・補修することもできる。また、改正・補修された規約は即時にその効力を発する。

第32回全国国公立選手権大会実施要綱等

第32回全国国公立選手権大会実施要綱

1、競技趣旨

本大会は、スキー大会において純粋なアマチュアリズムを残し、全国の国公立大学の連携により学生精神を高揚し、あわせて参加校の技術の向上と親睦を図ることを目的とする。

2、主幹校

名古屋工業大学、静岡大学

3、日程

平成24年3月5日～9日

4、大会会場

白馬岩岳スキー場

5、大会役員

大会会長	名古屋工業大学長	高橋 実
大会実行委員長	名古屋工業大学	喜多 剛志
アルペン競技委員長	名古屋工業大学	喜多 剛志
ノルディック競技委員長	静岡大学	加藤 宗史
会計係長	名古屋工業大学	柴田 裕貴

6. 競技日程

3月5日(月)	16:00	開会式	新田公民館
3月6日(火)	09:00	SG	かもしかコース
	13:00	スプリント	ラビランコース
3月7日(水)	09:00	GS	かもしかコース
	13:00	クラシカル 10km・5km	ラビランコース
3月8日(木)	09:00	SL	かもしかコース
	13:00	フリー 10km・5km	ラビランコース
3月9日(金)	09:00	リレー	ラビランコース
	16:00	閉会式	新田公民館

競技実施要綱

- ・ 参加人数
 - ・ 全種目で人数制限なしとする。
 - ・ リレーは男子4名、女子3名でそれぞれ1チームとする。オープン参加を認める。
- ・ 得点、入賞
 - ・ 総合優勝は各種目の合計得点により決める。
 - ・ 同点の場合はリレーの順位による。また、リレーに出場しておらず総合得点と同じ場合には入賞者の数が多い方を上位とする。
 - ・ 表彰は各種目6位までとし、賞状ならびに3位まではメダルを授与する。また総合優勝(男女別)にはカップを授与する。
- ・ 補助員
 - ・ 競技開催につき各校より補助員を派遣する。補助員はバーン整備、関門員、機械運搬などにあたる。人数及び分担等詳細な事項は選手会での指示に従うこととする。
- ・ リザルト等
 - ・ 本部(新田公民館)前に当日の入賞者と各校のポイントを掲示する。個人競技結果は当日の選手会で配布する。
- ・ 競技細則
 - ・ 回転2本目は男子60位・女子30位までとする。
 - ・ スプリント競技の予選通過者は男子16名、女子8名で、決勝はトーナメント形式で行う。
- ・ その他
 - ・ 傷害保険に加入していない大学の参加は認めない。
 - ・ アルペン競技は流れ止め類を着用のこと。
 - ・ 大回転用のヘルメット着用は義務付けない。
 - ・ 競技中の事故に関しては、応急処置のみ本部にて手配する。
 - ・ GSの新人戦は行わない。

競技会細則

1. 競技規定

全日本スキー連盟競技細則を準用する。

2. 出発順位

主幹校に委任する。主幹校は乱数を用いたドロウを行い、公正に出発順位を決する。

3. 種目・目標及び参加定員

主幹校内で決定し、キャプテン会議でその承認を受ける。

4. 選手交代

出場申し込み後の選手交代は競技前日の選手会までに承認されなければならない。

5. 順位及び得点

[アルペン]

男子…15位までを入賞とし、得点は1位16点2位14点3位13点以下15位を1点とする。

女子…15位までを入賞とし、得点は1位16点2位14点3位13点以下15位を1点とする。

[クロスカントリー]

男子…15位までを入賞とし、得点は1位16点2位14点3位13点以下15位を1点とする。

女子…10位までを入賞とし、得点は1位11点2位9点3位8点以下10位を1点とする。

リレー男子…6位までを入賞とし、得点は1位21点、2位17点、3位14点、以下6位を5点とする。

リレー女子…3位までを入賞とし、得点は1位11点、2位9点、3位7点とする。

スプリント男子…準決勝進出者を入賞とし、得点は1位9点、2位7点、3位6点、4位5点、

準決勝敗退者4名を2点とする。

スプリント女子…決勝進出者を入賞とし、得点は1位6点、2位4点、3位3点、4位2点とする。

6. 順位決定法

総合得点と同じ場合にはリレーの順位により決定する。リレーに出場しておらず総合得点と同じ場合には入賞者の数が多い方を上位とする。

エントリーについて

1. エントリーの流れ

今大会につきましては、仮エントリーと本エントリーの二段構成とさせていただきます。前大会の参加人数から下記の通り暫定でエントリー費を定めさせていただきます。

つきましては同封の仮エントリー用紙に記入していただき 8 月 22 日までに下記の番号宛に FAX にて送信をお願いします。

仮エントリー数によって実際のエントリー費を決定させていただきます。そのため仮エントリーはほぼ参加が確定している人数を記入してください。

エントリー費確定後、再度エントリー用紙を送付いたしますので、それをもって本エントリーとなります。なお、仮エントリーがされていても、1 月末締め切り予定の本エントリーがない場合、エントリーはされませんのでご注意ください。

2. 暫定分担金及び暫定エントリー費

基本分担金	各校	暫定 20,000 円
個人 1 種目		暫定 1,500 円
リレー 1 チーム	男子	暫定 4,000 円、女子 暫定 3,000 円

※暫定の費用となります。

3. 仮エントリー方法

各競技別の仮エントリー用紙に必要な事項を記入し、下記の FAX にお送りください。

FAX:052-531-3113